



## 1、JPX 起業体験プログラム 株主総会 11月9日(土)、横手清陵学院高校

JPX 起業体験プログラムに参加している8名の生徒が株主総会に臨んできました。最終的に、1株あたりの利益率が最も高かったということで、最優秀賞を受賞してきました。「株式会社 羽高」の社長よりコメントを頂きました。

私たち「株式会社 羽高」は11月9日に横手清陵高校で行われた株主総会に臨んできました。チームで協力し合った結果、私たちは最優秀賞という好成績を収めることができました。私はこの起業体験プログラムを通して、起業する大変さや商品を販売する難しさを肌で感じる事ができました。また、お金の回し方やお金の管理の仕方など多くのことを学ぶことができ、起業体験プログラムという長期間にわたる事業に取り組んでよかったですと思います。来年もこの事業があるならば是非、参加してほしいと思いました。

(TS君)



## 2、羽後町青少年模擬議会

11月10日(日) 羽後町議場

11月10日に行われた羽後町模擬議会に本校から生徒会執行部2名が参加してきました。参加者からコメントをいただきました。

今回の羽後町模擬議会では町の課題や疑問を町長や役場職員に問いかけ回答していただくものでした。課題はたくさんあったのですが、それを今すぐにどうするというのはなかなか難しいということで1つの事業を動かすことの難しさを感じたところです。今回の経験を学校の課題と重ねて考え、生徒会運営に活かしたいと思いました。(SZ君)



若者目線で当局に質問や提案を行った青少年模擬議会

### 県南4高校が起業体験 羽後高、最優秀賞に輝く

横手市 模擬会社の成果発表

県南の4高校が模擬会社を設立した「起業体験プログラム」の株主総会・表彰式がこのほど、横手市の横手清陵学院高で行われ、収益力を示す株主資本利益率が最も高かった羽後高の模擬会社「羽高」が最優秀賞に輝いた。キャリア教育事業に取り組む同市の一般社団法人セイルオン・ジャパン(奥真由美代表)が日本取引所グループ(JPX)と連携し、9月に横手市に設立した「羽高」は羽後高生活文化コースとビジネスコースの3年生8人が設立。9月に横手市のスーパーマーケットで開いた販売会でベトナムコーヒー、抹茶、五葉豆きなこのシ



最優秀賞に輝いた羽後高の模擬会社「羽高」のメンバーは4万8千円で売上高は9万1900円。税引き後の利益は2万4426円だった。株主総会では「うまく客の呼び込みができた」「メニュー表示やポップ作りで準備不足があった」などと販売会を振り返った。株主役に貸借対照表や損益計算書を説明し、利益配当金の承認と財産分配の決議も行った。羽高社長役の高橋駿輔さんは「ベトナムコーヒーの価格設定やミルク量の調整で難儀したが、最優秀賞を取れてうれしい。どう

さがけ新聞より

- ・起業体験プログラム(11/20 朝刊)
- ・羽後町模擬議会(11/13 朝刊)

やったらどれくらい売れるかを予想するなど、起業の大変さが分かったと話した。(阿部拓郎)

### 3、令和元年度 生徒会役員選挙 立会演説会 11月19日

11月19日に新生徒会役員立会演説会を実施し、立候補者3名が信任されました。信任された3名の意気込みを語っていただきました。なお、書記及び会計を加えた新生徒会役員任命式は12月17日の第2回生徒総会後に行われます。

新生徒会長	新生徒会副会長	新生徒会副会長
<p>「意気込み!!」</p> <p>この度生徒会長になりました2年A組の佐藤遥です。生徒会長になりましたこと大変嬉しく思います。私はこれから学校をリードしていく身となるので学校全体を良く観てより良い学校づくりができるよう心がけたいと思います。そして演説で話したことを実現できるように生徒会全員で協力し、先生や生徒の力を借りながら精一杯頑張ります。そして、羽後高校を今までよりももっと発信していきます!! (SHさん)</p>	<p>私は生徒副会長としてこれから学校を作り上げていくことはもちろんのこと、生徒会長をサポートして、皆がもっとこれからの学校生活を楽しいと言えるようにしていきたいと思います。生徒の意見をしっかり反映させて実行できることにはできるだけ取り組めるようにしたいです。これからの1年を充実したものにしていけるようにしたいです。</p> <p>これから約1年間、生徒会副会長として頑張ります。よろしくお願ひします。(HNさん)</p>	<p>自分の役割は繋がりをたくさん持っていくということだと思います。演説でも言った通りコミュニケーション能力を使いもっともつと学校の良さを地域などに伝えていけたら輝く学校になると思います。自分の役割をしっかりと把握しそれ相応の仕事をしていきたいです。(SZ君)</p>

